

日本植物病理学会 第12回バイオコントロール研究会のお知らせ

日本植物病理学会第12回バイオコントロール研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。万障繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催期日：平成24年3月31日（土）
2. 会場：福岡国際会議場
(〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1 TEL. 092-262-4111 FAX. 092-262-4701)
3. 統一テーマ：生物農薬が直面している問題点と今後の展開
4. 主催・共催：バイオコントロール研究会
5. 参加費（講演要旨集合）：4,000円（講演要旨のみ、2,000円）当日受付にて徴収、事前申し込み不要

プログラム

9：30-9：35 開会の挨拶

基調講演

9：35-10：00 生物農薬が直面している問題点と今後の展開
対馬 誠也（農業環境技術研究所）

第一部 生物農薬の現状と今後の展開

- 10：00-10：30 IPMから見た生物農薬
農林水産省 消費・安全局 植物防疫課
- 10：30-11：00 新農薬実用化試験から見た生物農薬
田代 定良（日本植物防疫協会 研究所）
- 11：00-11：30 水稻消毒用生物農薬の現状と今後の方針
大場 淳司（宮城県農林水産部農業振興課）
- 11：30-12：00 微生物殺菌剤の現状と問題点
安井 強（日本微生物防除剤協議会）

12：00-13：00 <休憩>

第二部 新しい生物農薬の展開

- 13：00-13：30 菌核病防除生物農薬：ミニタンWG（*Coniothyrium minitans* 製剤）
杉本 光二・小川 宗和・林 博之・三谷 滋（石原産業株式会社）
- 13：30-14：00 新しい生物農薬の施用技術“ライブコート”
秋津 教雄（多木化学株式会社）

第三部 研究の最前線

- 14：00-14：30 植物病原菌を用いた侵略的外来性雑草イタドリの生物的防除
黒瀬大介（農業環境技術研究所 JSPS ポスドク研究員 PD）
- 14：30-15：00 マイコウイルスを用いた防除資材の開発
森山裕充（東京農工大）
- 15：00-15：30 病原菌を剥離させるアプローチによるイネいもち病生物防除法の開発
池田 健一（神戸大学）
- 15：30 閉会の挨拶

問い合わせ先：第12回バイオコントロール研究会現地開催事務局

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学大学院 農学研究院 資源生物科学部門

農業生物資源学講座 植物病理学分野

土屋 健一

TEL:092-642-2834

E-mail: kentsuch@agr.kyushu-u.ac.jp